

西条市 日野 哲也さん(58)

## 「大きな災害に備えたお守り」

【経営規模】○七草

約180㍓

○野菜

約200㍓

○水稲

約550㍓

○キウイ

約27㍓

## 新価補償での加入も検討

無病息災を願う七草がゆで有名な「春の七草」と野菜の栽培が主軸です。JAえひめ未来の七草部会に所属し、約35年栽培しています。出荷は主にJAで、直売所にも出します。

園芸施設共済は大きな災害に備えてお守りとして加入しています。直近2年でも本体などに被害があったので、共済金の支払いがあり、助かりました。

1万円コースは全棟加入しています。次回更新時には新価補償を検討したいですね。掛金が上がっても補償が手厚くなるので、良いと思います。また、棟ごとに補償を選択できるのもポイントですね。

雪害への対策として、高台にあるハウスの一部は骨材を31.8mmに太くし、タイバーなどを補強しています。また、ストーブや練炭などを使用し、雪や霜の対策をしています。どうしても雪が積もった場合はトンボで雪かきをします。水を含んだ雪は重くなるので早め早めに対策します。



## コロナ禍でも負けずに

七草は毎年12月31日から1月3日のわずか4日間で収穫、パック詰めをし、出荷します。毎年、延べ約600人のアルバイトに来てもらいます。令和2年度はコロナ禍で出荷量調整の可能性もありましたが、徹底した感染対策により無事に例年以上の出荷ができました。おかげさまで感染者は出ませんでした。

七草の出荷が終わってもトマト、スイカ、キュウリ、ナス、ピーマン、キウイ、水稲などの栽培で忙しくしています。たまには週に1日だけでも休みがとれたらなあと思います。ですが、農業への熱意は常に持っています。

売り上げは収入保険でカバーできるよう初年度から加入しています。コロナ禍で大変な時期ですが、現在の経営規模を維持していきたいと考えています。